

週報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

三重県水産物消費拡大促進協議会 第27回通常総会 —6月11日 アストプラザにて開催—

6月11日(水)、三重県津市にあるアストプラザ・4階会議室において三重県水産物消費拡大促進協議会の第27回通常総会が開催された。

冒頭、永富会長が挨拶に立ち『漁業者は苦しい状況に置かれているが、これからも皆さんと知恵を結集して魚介類の消費拡大を取り組んでいきたい』と述べ、続いて来賓として藤吉次長が『県も流通にも関わっていく必要があることから、本年度から水産資源課の中に、水産流通班を新設したので、よろしくお願ひしたい』と挨拶した。

総会では、平成25年度事業報告、平成26年度事業計画等が原案どおり承認された。

総会終了後には、「水産物の消費動向とプライドフィッシュプロジェクトについて」と題し、全漁連・水産物消費拡大対策部長の三浦秀樹氏による記念講演が行われた。

依然つづく魚離れの現状のなか、各浦々で獲れる本当においしい魚介類を全国の漁協系統が一体となってアピールし、消費拡大に結び付ける取り組みとしてプライドフィッシュが始まったことなどを説明。今後、各季節の漁師自慢

の魚(プライドフィッシュ)をホームページやマスコミ、流通関係団体等の協力も得て広くアピールしていくこととなっている。



永富協議会長の挨拶



記念講演

養殖業者による出前授業 —6月11日 津田学園小にて開催—

6月11日(水)、津田学園小学校4年生53名を対象に「魚類養殖業の仕事について」と題した出前授業を実施した。講義に立った三重県海水養魚協議会の橋本純氏(阿曾浦)は、魚食普及の一環として、魚を育てる工夫等をスライド利用しながら説明。児童に本物のマダイやエサも手に取ってもらい、大きさ、手触り、形など特徴を確かめてもらった。児童たちからは「世界中ではどんな魚が養殖されているのか?」等、様々な質問が

飛びかう授業となった。



出前授業の様子

**漁業就業支援フェア
—6月14日 東京都にて開催予定—**

一般社団法人全国漁業就業者確保育成センターは、6月14日(土)にアキバスクエア(東京都千代田区外神田)で「漁業就業支援フェア東京」を開催する。

このフェアは、新規就漁希望者と漁協・漁業会社等を繋ぐ目的で、参加者は出展ブースの担当者と直接相談できる機会が設けられる。加えて、マッチングが成功すれば、出展ブースの研修候補生として採用されるケースもある。三重県からは、早田漁師塾など複数の漁業団体が出展する予定。

フェア参加者は、漁業全般のことや漁業種類の違い、仕事内容など、漁業就業に関する様々な情報を得ることができるのも魅力。また、自身の立場や状況にあわせて、会場を自由に回り、情報収集できる絶好のチャンスとなる。

開催時間：12:30 から 16:00

参加条件：未経験者・家族連れ歓迎／参加費無料／事前の参加申し込み不要(当日会場へ来場ください)

履歴書不要 / 服装自由 / 入退場自由

**養殖魚情報
—水温変化に注意が必要—**

今年は水温がなかなか上がらず、例年よりマイナス 1℃前後の水温状態で推移している。三重県水産研究所尾鷲水産研究室によると、5月末頃からようやく水深 2m 層で 20℃を超えるようになってきたが、例年に比べて水温上昇が遅れているとのこと。

養殖魚については、水温が上がらないと、水温上昇とともに収束していく病気が治りにくかったり、体表のスレ等が治癒しにくかったりする。一方、水温の上昇、日照時間の増加にともない、先般の降雨後に暖かい晴天が続いた場合、突発的に赤潮となる可能性もあるため注意が必要となる。

《魚病等に関する問い合わせ先》

三重県水産研究所 TEL:0599-53-0016
尾鷲水産研究室 TEL:0597-22-1438

【主な予定】

○6月14日(土)

漁業就業支援フェア(東京)

○6月21日(土)

三重県漁業士会・漁青連合同総会(松阪)

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。